

四日市版コミュニティスクール報告書（令和4年度総括）

四日市市立羽津北小学校

校長 山中 茂生

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 学校・保護者・地域が互いに連携し、学校教育目標である、「自ら学び、共に生きる子どもの育成」の実現を図ります。
- ② 保護者や地域の声を反映した教育活動を進めることで、学校とともに児童を育成する中心的な役割を果たします。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

【6年プール清掃の協力】

6月に、コミュニティスクール(以下けやき委員会)も協力して6年児童と共にプールの清掃作業を行いました。当日は児童と共にけやき委員会やPTA、教職員が集まり、協力して学校のプールを清掃しました。限られた時間で、子どもたちだけでは難しかった部分も、大人の力で最後まで取り組むことができ、きれいにすることができました。新型コロナウイルス感染症等の影響で入水できる回数は限られましたが、大人も子どもも力を合わせて水泳の授業ができる環境が整いました。



【創立40周年記念行事への協力】

昨年度、創立40周年を迎え、今年度はその記念行事として、けやき委員会の方を中心に、PTAや地域の方々と協力しながら花火を打ち上げられました。

児童や保護者の方をはじめ、地域の方や卒業生の方からも大変好評で、たくさんの感謝の言葉をいただきました。



【陶芸教室】

3年生は、地域の陶芸家の方を招いて自分たちの住む地域の地場産業である萬古焼の学習として、陶芸教室を開きました。

また4年生は、ばんこの里会館を見学してひな人形の絵付け体験をしました。本校では3年生で焼き物作りを行い、4年生で地域の産業についての学びを深めています。



【米洗川探検】

羽津緑の会の方を講師としてお招きし、クラブ活動での時間に、本校横を流れる米洗川(よないがわ)の探検を行いました。

米洗川に住む生き物について川に入って探検しました。川の様子が変わり、観察する機会は少なくなりましたが、実際に生き物を観察することで、地域の自然を知り地域への愛着を高めることができました。



【6年竹明かり制作の支援】

今年度も、校区の額突山公園のイベントに、6年生が竹明かりを制作して出品していこうという提案があり、地域のイベントに触れる良い機会になりました。

まちづくり推進協議会より、地区の行事として6年生に竹明かり制作の協力をしていただくこととなり、当日はけやき委員はじめ、保護者も協力して実施することができました。このように、地域のイベントに協力することで、地域の一員としての自覚を育む機会となりました。



【交通少年団の取り組み】

今年度は、昨年度まで進化だコロナウイルス感染症対策のため実施できていなかった交通少年団の入退団式や班長旗講習会を行いました。

班長旗講習会では、集団登下校時の交差点の渡り方を学びました。そのおかげで、子どもたちは、礼儀正しく安全に集団登校をすることができました。



※ 新型コロナウイルス感染症対策のため、図書ボランティア(羽津絵本の会・どっこいしょ)の活動は中止となりました。

(2) コミュニティスクール(運営協議会)の取組による効果

けやき委員会4年目の今年度も、引き続き新型コロナウイルス感染症対策が必要となる中でのスタートとなりました。しかし、徐々に平常化しつつあり、今までの学校教育活動が復活できるようになってきました。けやき委員会としては、再びできる取り組みを考えながら行動した1年となりました。

今年度も、子どもたちの教育を守るためにできることをやろうという方向に議論は進み、昨年に引き続きプール清掃に協力することになりました。当日は、けやき委員の他に保護者にも呼びかけ、6年児童・教員と共に感染症

対策をしつつ、清掃作業をしていただくことができました。また、地域の陶芸家の方を招いて萬古焼に取り組む交流も進められました。さらに、2月には地域の額突山緑地公園のイベントに合わせてまちづくり推進協議会の方の協力をいただき、6年生で竹あかりを制作することができました。これらは、新型コロナウイルス感染症はじめ様々な困難もある中、地域の皆様の「子どもたちのために」という温かい思いから実現したものです。

また、けやき委員会の方々には、新型コロナウイルス感染症の対策をしつつ、学んでいる児童の様子を参観していただき、前向きに学習に取り組む様子を見ていただきました。



これらの活動を通して、本校の教育について様々な角度からご意見をいただき協議する事ができました。

今年度も、実施できなかった行事がありますが、皆様の協力により様々な活動を行うことができました。今後も地域との連携を大切にすることによって、子どもたちにより豊かな人間性を育むことができると考えます。

学校評価の児童アンケートで、「話すとき、聞くときのルールを守り、友だちとなか良く勉強している」は97%が、「先生たちは、自分の話をよく聞いてくれている。」では98%の児童が、肯定的な回答をしています。また、児童が落ち着いて学ぶ姿から、保護者アンケートでは、「お子様は、学校のきまりを守って、学校生活を送っている。」について、99%の保護者より肯定的な回答をいただいています。

3 今後に向けて

- ・ コミュニティスクール「けやき委員会」は、コロナ禍の中でも少しずつ行事が再開できるようになり、活動も復活してきました。今後はコロナ禍後の取り組みをPTA・地域の団体と連携して環境整備を実施していく必要があると考えます。また、まちづくり推進協議会と連携した行事も少しずつ再開できました。これらにより、地域と保護者・学校が協力し合う関係をより深めていきたいと思えます。

今後も、この連携を大切にしながら、これまでの活動の継続と無理のない発展的な活動を目指していきたいと考えています。

- ・ 今年度も、コミュニティスクールを継続して啓発していくために「コミュニティスクールだより」を発行することができました。今後も、学校だよりやHP、地域回覧等で積極的に啓発していきたいと考えています。